

2

女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと

▶ 西原理恵子/KADOKAWA 刊 ¥1,100

◇西原理恵子さんご本人からコメントを頂きました◇

これから世の中に出ていく、まさに予備軍である高校生のために、この本を第2位に選んでくださったこと、ほんとうにありがとうございました。人生は、あんな坂、こんな坂、まさか！の連続です。転び続けた先輩の話聞いてください。あなた方が転んだ時に少しでも役に立つ一冊になれば嬉しいです。



3

バッタを倒しにアフリカへ

▶ 前野ウルト浩太郎/光文社 刊 ¥920

◇前野ウルト浩太郎さんご本人からコメントを頂きました◇

これから何をして生きていこうか。全ての高校生が苦悩する「進路」。取り柄のない青年が、どんな想いで進路を選び就活したのか、大人の世界を先に覗いてみませんか？「若いうちに読んでたら、人生変わってたわ」—— 取り返しのつかないところまで人生を進めた大人たちからは好評です。



4

漫画 君たちはどう生きるか

▶ 吉野源三郎(原作), 羽賀翔一(漫画)/マガジンハウス 刊 ¥1,300

◇担当編集者さんからコメントを頂きました◇

「僕たち人間は、自分で自分を決定する力をもっている」この本の中に登場する言葉です。情報が溢れる今の時代だからこそ、流されずに自分で考え、決定することが大切です。高校生の皆さん、あなたの人生には無限の可能性が広がっています。そしてそれはあなた自身が決定するもの。この本が人生を考えるきっかけになってくれることを願っています。



8

もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら

▶ 神田桂一, 菊池良/宝島社 刊 ¥980

◇著者のお二人からコメントを頂きました◇

本は世界を変えます。現実の世界も変える、あなたの心のなかの世界も変えます。だから面白い本に出会うと現実の世界の景色が違って見えるようになります。文体はその世界を変えるための道具です。あなたの文章にも、友だちのLINEにも、街なかのポスターにも文体はあります。あなたも文体を探してみてくださいね。



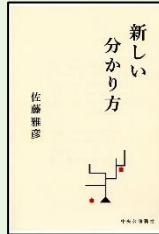
9

新しい分り方

▶ 佐藤雅彦/中央公論新社 刊 ¥1,900

◇担当編集者さんからコメントを頂きました◇

学校の勉強でも、自分が興味をもっていることでも、何かがあった瞬間は、とても気持ちのいいものです。この本には、そうした「分かってうれしい」が詰まっています。どうしてそんな気持ちになるのか、何度も読み返しながら、自分の中で起こった変化や発見を味わってもらえたら嬉しいです。



10

か「く」「し」「ご」と

▶ 住野よる/新潮社 刊 ¥1,400

◇住野よるさんご本人からコメントを頂きました◇

『か「く」「し」「ご」と』は、簡単に言ってしまうと「みんなが尊重されるべき」というお話です。苦手なことがあっても周りの人たちと違ってたまに嘘をついてしまっても、きっと大丈夫です。このお話に出てくる五人が、読んでくださった皆さんの友達になれますように。



10

i

▶ 西加奈子/ポプラ社 刊 ¥1,500

◇西加奈子さんご本人からコメントを頂きました◇

アイちゃんと一緒に悩み苦しみながら書きました。書き上げた今も、世界は悲劇で溢れているけれど、皆さんにいただいた力を糧に、これからも書き続けます。本当にありがとう。



埼玉県の高校図書館司書が選んだ イチオシ本 2017

第1位

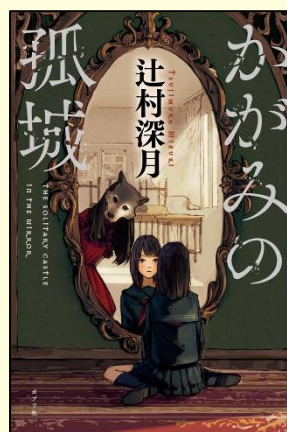
かがみの孤城

THE SOLITARY CASTLE IN THE MIRROR

辻村深月 著
ポプラ社 刊 ¥1,800

投票者コメントから

本作を借りた不登校の生徒から「はじめて本で泣きました」といわれました。ミステリーとして楽しめるだけでなく、行間から書き手の誠実さが感じられる1冊だと思います。



◇◆◇ 辻村深月さんご本人からコメントを頂きました ◇◆◇

『島はぼくらと』に続く、2度目のイチオシ！ ありがとうございます。『かがみの孤城』は学校や家に居場所をなくした子供たちの話ですが、学生時代の私にとって、どんな時でも自分を受け入れてくれた場所が図書室でした。今、同じ思いをしているかもしれない子たちが、皆さんがいる図書室・図書館から『かがみの孤城』を通じてこころたちと友達になってくれたら、こんなに嬉しいことはありません。

5

あるかしら書店

▶ ヨシタケシンスケ/ポプラ社 刊 ¥1,200

◇ヨシタケシンスケさんご本人からコメントを頂きました◇

この度は選んでいただき、本当にありがとうございます。この本を読むことが、本への興味、本を作った人々への興味、そしてたくさんの本が存在するこの世界そのものへの興味に繋がってくれたら、作者として、こんなに嬉しいことはありません。



6

学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで

▶ 岡田麿里/文藝春秋 刊 ¥1,400

◇岡田麿里さんご本人からコメントを頂きました◇

高校時代に読んだ本の一節が、歳をとっても、「うー！」と走り出したい気分させてくれます。心の脚力がすさまじい高校生の皆さんに、今、いっぱい走ってもらいたいです。



7

I Love Youの訳し方

▶ 望月竜馬/雷鳥社 刊 ¥1,200

◇望月竜馬さんご本人からコメントを頂きました◇

この本には、百通りの愛の表現が詰まっています。泣いたり、笑ったり、共感したり、しななかったり……どうぞお好きなように読んでください。いわば、この本は、小さな図書館のようなもの。みなさんがお気に入りの作品や作家さんを見つけるきっかけになると嬉しいです。

